６）首里城歴史文化継承基金（首里城未来基金）事業

泉 千尋[1]・嘉手苅なつき[1]

キーワード：人材育成　伝統技術　継承　建造物木工　木彫刻　首里城未来基金

１．はじめに

本事業は、令和４年に、内閣府沖縄総合事務局、沖縄県、一般財団法人沖縄美ら島財団、沖縄県立芸術大学の 4 者が締結した「首里城復元における技術継承・人材育成にかかる連携協定」に基づいて実施している。令和 8 年の首里城正殿の完成、その後の南殿等の焼失建物の復元、さらには復元後の補修・修理に必要な伝統技術を継承することを目的とし、沖縄県が設置した「首里城歴史文化継承基金（首里城未来基金）」により、伝統的建築技術に関する人材育成を行う。また、技術継承に関する人材ネットワークを構築し、技術継承体制の確立を図る。

２．事業概要

本事業では、建造物木工分野と木彫刻分野の２分野において研修を実施し、事業 2 年目となる令和 6 年度は、建造物木工分野 4 名、木彫刻分野 1 名が受講した。また、2 分野のアドバイザーとして、以下の 3 名を選出し、助言を受けた。

・建造物木工：平良 啓((公社)沖縄県建築士会会員)、金城 稔(金城建設社長)
・木　彫　刻:波多野 泉(沖縄県立芸術大学学長)

１）講義

本年度の研修カリキュラムは、以下の時間数で実施された（表-1)。

・建造物木工：計 127 時間(講義 17 時間、実習 87 時間、先進地視察 23 時間)
・木　彫　刻：計 81 時間(講義 17 時間、実習 38 時間、先進地視察 26 時間)

本事業は、文化庁の伝承者養成事業と連携し、共同での講義を実施した（表-1「※」)。

今年度より、建造物木工・木彫刻の技術者である研修生の自立支援のため「積算」の講義も新たに加えた。(写真-1, 2)

２）分野別専門実習

(1) 建造物木工分野

実習では、金城建設の金城稔氏の指導のもと、昨年度制作した貫構造のテーブルの上部に屋根材を設置するため、隅木・垂木の制作から組上げまで行った。

差金（さしがね）を用いた規矩（きく）術を駆使し、屋根勾配の原寸図作成、実際に屋根材の組上げまで行ったが、宮大工歴数年の研修生は、差金の用いての屋根制作が初めてで、理解が難しい様子であった。宮大工の技術獲得のため古建築の建造機会の創出と修行時間の確保の必要性が課題となった実習であった。(写真-3, 4)。

(2) 木彫刻分野

実習では、講師の儀保克幸氏が助言しながら研修生を個別指導の形式での実習を行った。研修生自身が制作した正殿唐破風妻飾の透かし欄間を再度学びなすため、下絵作成から彫刻制作までを実施した(写真-5, 6)。また、県内類似事例視察では、木彫刻研修生が令和 5 年度に制作した正殿御差床「葡萄栗鼠」羽目板の漆塗装工程を視察した。「塗装の厚さを想定して彫刻を行う必要性」という新たな理解につながった(写真-7)。

３）先進地視察

先進地視察は石川県・富山県を訪問した。金沢城公園では、金沢城を復元した宮大工の方々の話を伺い、富山県南砺市井波では、正殿唐破風妻飾の金龍の制作中の工房で制作者から説明を受け、現地の「井波彫刻」を視察した。

金沢城では、金沢城復元の大工の団体からは「県内の大工等の様々な業種の連合体で金沢城を復元」等「伝統技術団体のつながり」の重要性、井波彫刻師歴 50 年の職人の首里城の彫刻で修行を続けていると述べる「職人の心得」を学び取った（写真-8, 9, 10）。

県内視察先の首里城正殿復元工事現場では、山本信幸総棟梁・建造物木工分野アドバイザーの平良啓氏に復元工事の詳細を説明があった。山本総棟梁が建造物木工分野の研修生が手掛ける円覚寺三門工事の助言を行い、研修生からも活発な質疑がなされた。(写真-11, 12)。

３．外部評価委員会コメント

将来を見据えた人材育成の取り組みであり、その成果に期待する。

（高良顧問：琉球大学名誉教授）

[1]琉球文化財研究室

表-1　講義・実習・先進地視察等

月日	科目	講師（敬称略）
9月14日（土） 10:00-16:20	開講式	沖縄県職員、波多野泉（沖縄県立芸術大学学長）、他
	研修生ワークショップ	-
	首里城復興の取組・寄附金活用	仲村麗子（沖縄県首里城復興課課長）
	※「琉球建築」の特徴と技術、正殿復元の工種	平良啓（(公社)沖縄県建築士会）
	※首里城復元に向けた取組	新垣博愛（国営沖縄記念公園事務所首里出張所所長）
12月7日（土） 10:30-12:00	※文化財概論	結城啓司（文化庁文化財調査官）
12月25日(水)～ 12月27日(金)	石川県・富山県南砺市井波視察	砂田清定、他（(一社)石川県建築組合連合会）
令和7年1月18日（土） 10:30-12:00	※積算について	金城稔（金城建設）、銘苅靖（正殿漆塗装検討業務監理技術者）
1月18日（土） 13:30-15:30	※琉球建築の屋根構造と瓦施工	中本清（(公社)沖縄県建築士会元会長）
1月27日(月)	御差床羽目板等漆塗装視察	諸見由則（漆芸工房）
2月14日（金） 14:00-16:00	首里城正殿復元工事現場視察	平良啓（(公社)沖縄県建築士会）、山本信幸（首里城正殿復元工事総棟梁 ）

建造物木工　専門実習		
12月5日(木)～ 令和7年2月28日(金)	建造物 木工技術	金城稔（金城建設）
木彫刻　専門実習		
12月29日(日)～ 令和7年2月6日(木)	木彫刻技術	儀保克幸（沖縄県立芸術大学講師）

写真-1 アドバイザー波多野泉氏(左)・仲村麗子氏(中央)・平良啓氏(右)・研修生ワークショップ

写真-2 アドバイザー金城稔氏(左)と銘苅靖氏(右)による講義「積算について」

写真-3 建造物木工実習

写真-4 建造物木工実習(左：金城稔氏)

写真-5 木彫刻分野実習

写真-6 木彫刻分野実習（中央：儀保克幸氏）

写真-7 御差床羽目板の熟覧（中央：諸見由則氏）

写真-8 県外先進地視察（石川県・金沢城）

写真-9 金沢城内の木組み模型を見学

写真-10 金沢城復元工事の建築団体と意見交換

写真-11 富山県南砺市井波で正殿唐破風妻飾金龍制作工房を見学

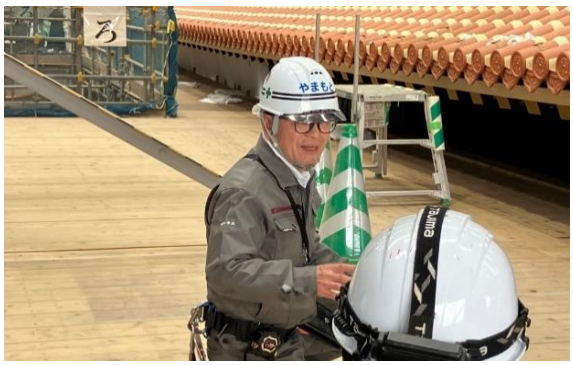

写真-12 正殿工事現場で山本信幸首里城正殿復元工事総棟梁（写真中央）と研修生との質疑応答